

指定管理施設自己評価・内部評価・外部評価シート

評価対象年度	令和4年度
施設名	秦野市老人いこいの家 かわじ荘
指定管理者	老人いこいの家 かわじ荘運営委員会

【自己評価及び内部評価の基準】
[1～10までの各項目の評価]
実現性が明確である場合・・・3点
実現性が概ね認められる場合・・・2点
実現性が認められない場合・・・1点

No.	評価項目	主な評価基準	自己評価	内部評価	内部評価の理由
1	管理運営の基本的な考え方について	施設の設置目的に沿うものとなっているか	3	3	高齢者の教養の向上並び健康及び福祉の増進に役立つ事業としてミニデイサービスを実施している。
2	市民活動・地域の活性化に関する考え方	老人いこいの家を通じて市民活動・地域の活性化に寄与するものとなっているか。地域性を活かし魅力ある自主事業となっているか	3	3	ミニデイサービスを2班体制で月2回実施している。ミニデイサービスの中で、上小学校との交流事業を実施している。
3	運営体制	効率的かつ安定的な事業運営が可能な体制か。地域ニーズに合わせた運営が可能な体制か。管理運営委員会の会議は、委員長が招集し、必要に応じて会議を開催しているか。(総会、役員会等)	3	3	運営委員会は学識経験者、各自治会関係者、各長寿会関係者、民生・児童委員等から構成されており、広くニーズを集約している。また、必要に応じて運営委員会を開催している。
4	施設の貸出方法	貸館の予約については、備え付けの利用簿に希望日等を記入させる。施錠・開錠については、利用者に責任を持って行わせ、鍵の保管については、十分に意を払っているか。また、利用後は、報告書を提出させているか。	3	3	委員長宅へ電話をし、施設の空き状況を確認後、利用申請書を提出させている。鍵は施設近くに住む運営委員が管理しており、開け閉めをしている。利用後には利用報告書を提出させている。
5	備品の管理について	利用者に備品の丁寧な扱いの励行を呼びかけるとともに、破損や不足を確認した場合には、速やかに対応しているか。	3	3	利用者に対して備品の丁寧な扱いをするよう呼び掛けをしている。令和4年度はブロワーの故障があったが、予算内で対応した。
6	管理に関わる収支予算	整合性がとれているか 経費節減は図られているか	3	3	おおむね予算に即した支出がされている。予算より支出が少額となり浮いた経費は修繕に充てているほか、緊急対応積立金として繰り越している。
7	緊急時の対策、防犯、防災対策について	緊急時の連絡先を施設内に明記し、火災、盗難の防止及び、衛生的な管理に努めているか。	3	2	利用団体に対し緊急連絡先を通知している。衛生管理に関して、利用者アンケートの「施設の清潔度」の平均点が4点満点中2.4点であり、満足度が低かった。
8	安全対策	施設内外に危険物や障害物がないかどうか、定期的に巡回を実施し、事故防止に努めているか。	3	2	利用者アンケートの「施設の安全管理に対する意識」の平均点は4点満点中3点であり、他のいこいの家と比べ満足度が低かった。
9	個人情報の扱い	個人情報の管理方法、取扱は適当であるか	3	3	個人情報を含む書類は、鍵のかかったキャビネットに保管している。
10	市との連絡調整等	市と指定管理者との間で十分な連絡はなされているか。	3	3	委員長が月に1回利用報告書を提出しに来庁される。また、必要に応じて市に連絡があり、市からの問い合わせにも対応が出来る。
総合評価			30	28	

外部評価	A(適切である)
------	----------

【外部評価の基準】
A(25点～30点)・・・適切である
B(11点～24点)・・・概ね適切である
C(1点～10点)・・・適切でない